

今年もよい年でありますように

第4回 新春初笑い市

新春を笑って迎えようと1月3日(金)、駅ナカ「にぎわい空間」で「新春初笑い市」が行われました。

開会式では小野町長が「皆さまのおかげで今年で開催4回目を迎えました。この駅には全国からお客さんが来ます。これからもみなさんと一緒に盛り上げていきましょう」とあいさつしました。

オープニングは、金多豆蔵人形芝居無料公演。踊りや芝居で会場を笑わせ盛り上げました。続いて餅つきが行われ、グリーンツーリズムの会「かけはし」のみなさんがけの汁や、つきたて餅でおしるこやきなこ餅を来場者に提供しました。

ステージに移って、おなじみスコップ三味線「謎の美女軍団」と健康ダンス「べえ子ちゃん」ショーが始まり、手拍子や一緒に振り付けをする来場者もいました。中里横笛愛好会による「新春招福演奏」では、子どもたちの演奏を観にかけた親たちが声援を送っていました。最後は、中里三味線会による踊りや演奏、瓜田益子さんによる津軽弁を交えた替え歌を披露した歌謡ショーでイベントを締めくくりました。

この日は、津鉄のツアー客も参加しイベントを楽しむなど、400人を越える来場者がありました。また、お楽しみ抽選会など12月に発足した活ハマクラブがイベント運営に協力しました。



健康ダンス「べえ子ちゃん」、着ぐるみ人形劇きららの会、福祉ボランティア「めんだりカッチャ」の会、茶友会、花苺の会、金多豆蔵応援隊、町老連なかさと支部女性部、起きて夢見る会)が、五所川原市とつがる市からは7団体がそれぞれの活動発表やステージ発表を行いました。

また、会場では体験コーナーとしてお茶点て、活動紹介の展示、ポケットティッシュケースづくり体験が行われ、参加者たちは交流を深めていました。

駅ナカで交流会

集まれ～奥津軽のボランティアたち！

ボランティアネットワーク事業として、中泊町、五所川原市、つがる市のボランティア団体が集まり、それぞれの活動発表を通じて、交流する「集まれ～奥津軽のボランティアたち！」が駅ナカ「にぎわい空間」で行われました。

金木囃子友の会によるオープニング演奏後の開会あいさつでは、町ボランティア連絡協議会の夏原会長が「今日は活動発表やステージ発表を通じて親睦を深めてもらいたい」とあいさつし、当町からは、8団体(健

心配ごと相談 町社会福祉協議会

中里地域

2月26日 中村盛江、荒関徳勝

3月12日 葛西嘉四次、秋元武弘

相談場所 役場相談室

相談時間 午前9時～午後2時

小泊地域

2月19日 藪田由比子

竹谷利男

相談場所 すくすくしたまえ館

相談時間 午前9時～午後2時

なんでも行政相談

日時…2月18日(火) 午前9時～12時

場所…中央公民館

行政相談委員…秋元武弘、藪田由比子

※行政相談は、住民から寄せられた苦情や意見・要望を、住民と関係行政機関との間に立って、公正・中立な立場から必要なあっせんを行い、その解決や実現の促進を図ります。

今年もウマくいくように

平成26年 新年を祝う集い

午年の新年を祝う集いが、1月6日(月)パルナスで行われ、町内から関係者ら約130人が参加し新年を祝いました。

主催者の小野町長が昨年を振り返り、課題をひとつひとつ解決し、明るく活力ある住みよい町を目指していきたいとあいさつしました。成田県議会議員の祝辞につづいて沖崎町議会議員長の発声でうまくいくようにと乾杯しました。

懇親会では、参加者がそれぞれ新年のあいさつを交わし、最後は抽選会を楽しみながら、今年のはじまりを祝いました。



無病息災を祈る

恒例のどんと焼き

正月の松飾り、注連縄、破魔矢、お守りなど役目を終えた縁起物を家々から持ちより、一箇所に積み上げて燃やすという日本全国に伝わるお正月の行事「どんと焼き」が、1月11日(土)パルナスで行われました。

今シーズン一番の寒気に覆われ吹雪となったこの日は、例年より来場者は少なめとなりましたが、約100人が参加しました。

祭事は弘法寺三浦副住職が祭司を務めました。どんと焼きの火にあたるとその1年間健康でいられるなどの言い伝えもあり、集まった町民も立ち上がる炎に向かって手を合わせ無病息災を祈りました。

地域を大切に作る心を育む

薄市小餅つき大会

豊作・地域の幸福を願って行われる伝統行事の「繭玉づくり」で、子どもたちが地域を大切に作る心を育み、学校・家庭・地域とのふれあいを深める目的で薄市小PTAが恒例の餅つき大会を行いました。

開会では、小寺也人PTA会長が「収穫、健康を感謝しながら餅つきや繭玉づくりを楽しんでください」とあいさつ。参加した全校児童、保護者、教員、薄市保育所、内湯療護園、きりん館など地域のみなさんが餅つきや繭玉づくりで交流を楽しみました。



広告

五所川原第一高等学校 通信制課程 前期入学生募集

高校卒業資格を手に入れよう

- 今の学校になじめない・・・という方
- 体力的に毎日は無理・・・という方
- 一度辞めてしまった・・・という方

通信制なら、どうでしょう？

☆就学支援金(高校無償化)も適用されます。詳しくは下記まで、お問合せください。

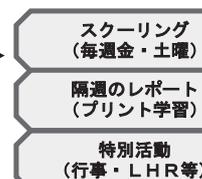
出願期間

☆平成26年2月17日
～ 4月3日

出願書類の審査と面接結果
で合否を判定します。

入学から卒業まで

入学



単位認定

74単位以上で卒業

1年次 2年次 3・4年次

〒037-0044 青森県五所川原市字元町6-1
TEL 0173-26-6662 FAX 0173-26-6663

ホームページ <http://goichiko.jp/tsushin/>
メールアドレス goichi_tushin1@tenor.ocn.ne.jp

水・日/休校日

お正月の準備

門松づくり教室

正月に玄関に飾る門松をつくる教室が12月25日(水)、中央公民館で開かれ、事前に応募した40人が参加しました。

ホールには、竹、わら、縄などの材料が用意され、手順に従ってそれぞれ作成しました。何年も連続で参加している人は、手際よく30分程度で完成させていました。一方、初心者や子ども連れの参加者は、指導者から手ほどきをうけながら、ひとつひとつ行程をこなしていました。

完成した門松は、それぞれ自分の家に持ち帰り、玄関先へ飾って新年を迎えたようです。



世代を超えたふれあい

ゆきんこまつり

下前地区3つの母親クラブが地域の子どもやその保護者を集めて交流する「ゆきんこまつり」が、1月12日(日)すくすく下前館で行われ、約70人が集まりました。

この日は、悪天候の影響もあり室内でリングリレー、大型カルタ、親子〇×クイズ、賞品付きドップを楽しみました。なかでも大型カルタが人気で早く札を見つけようと熱戦となりました。

お昼は、料理のベテラン揃いの母親クラブが作った温かいおでんを食べました。参加した保護者は「先輩たちの子育て話など聞くことができ勉強になった。

世代を超えた交流ができてよかった」などと話していました。

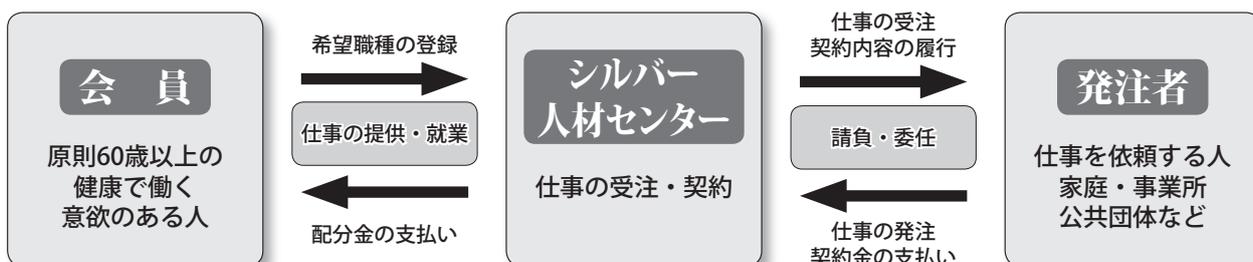
中泊町シルバー人材センター 会員募集中

■入会のご案内…町に居住する原則60歳以上の健康で働く意欲のある人！

※シルバー事業は、就業や収入を保障するものではありません。

■お仕事の依頼…高齢者に適したお仕事を承ります。まずはお問合せを！

※お仕事によっては、必ずしもご依頼を受けられるとは限りません。



入会、お仕事の依頼に関するお問合せは

公益社団法人 **中泊町シルバー人材センター**

(町老人福祉センター内) ☎ 57-2161